

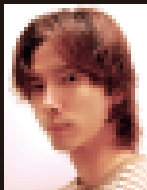
演劇ユニットてがみ座
第五回公演

下北沢「劇」小劇場
2011.09.14.WED.～19.MON

空^{そら}のハモニカ

わたしがみすゞだった頃のこと

キャスト



尾崎 宇内
Uda Ozaki
[てがみ座]



福田 温子
Atsuko Fukuda
[てがみ座]



石村 みか
Mika Ishimura



大場 泰正
Yasumasa Ohba
[文学座]



新井 結香
Yuka Arai
[劇団 浅敷童子]



宮本 翔太
Shota Miyamoto
[椿組]



美舟 ノア
Noa Mitune



今泉 舞
Mai Imaizumi



阿部 伸勝
Nobukatsu Abe
[はやびと]



中田 春介
Shunsuke Nakata

スタッフ

演出：扇田 拓也 [ヒンドゥー 五千回]
脚本：長田 育恵 [てがみ座]
舞台監督：袖谷 昌洋
舞台美術：杉山 至十 鴉屋
照明：千田 実 [CHIDA OFFICE]
音響：余田 崇徳
衣裳：吉田 健太郎 [yu-GEN CRAFTS]
宣伝美術：杉江 あき
宣伝写真：田中 亜紀
舞台写真：伊藤 雅章
撮影：関 肇伸
WEB：高橋 典子 [RICO STYLE]
手紙：右近 金魚
制作：MAICO.、小池 芽生
協力：小野 和佳子、富田 泰代、福地 きょうこ
ダックスープ／椿組／にしすがも創造舎／(株)ノックアウト／
ヒンドゥー 五千回／舞台美術研究工房 六尺堂／
文学座／(有)ワンダー・プロダクション

タイムテーブル

14日(水)	19:30
15日(木)	19:30
16日(金)	14:00／19:30
17日(土)	14:00／19:00
18日(日)	14:00／19:00
19日(月・祝)	13:00／17:00

開場は開演の30分前、受付開始は開演の40分前です。
開演5分前を過ぎますと、良いお席へのご案内が出来なくなる
恐れがございます。できるだけお早めにご来場ください。

アクセス



下北沢「劇」小劇場

〒155-0031 東京都世田谷区北沢2-6-6
小田急線・井の頭線「下北沢駅」南口徒歩5分

チケット【全席自由】

【一般】前売：3,500円 ※8月4日(木)～発売
当日：3,800円
【早割】前売：3,000円 ※7月18日(月・祝)～24日(日)
劇団ウェブサイトにて先行発売
7月29日(金)までに指定口座に代金をお振込みいただき
ます。詳しくは返信メールをご覧ください。

【チケットのお求め・お問合せ】

てがみ座ウェブサイト▶ <http://tegamiza.net/>
MAIL▶ info@tegamiza.net
TEL▶ 090-1706-0061

携帯用
予約フォーム▶



演劇ユニットてがみ座とは

劇作家長田育恵(日本劇作家協会所属・井上ひさし氏に師事)を
主宰として2009年旗揚げ。上演作品に合わせ演出家・俳優を
コラボレートするスタイルをとる。心の揺れ動きを見つめ、繊細な言葉、
丹念に織り上げられた構成で、圧倒的な共感を紡ぎ出す。
ひとの生命がきらめく、「詩(うた)」が立ち上がるその瞬間を捉えたいと願う。

1930年春、下関。

愛する娘を残して26歳で命を絶ったテル。
亡くなる前日にはひとり肖像写真を撮った。
まるで生きた証を刻み付けるかのように。
大正後期に黄金期を迎えた童謡詩の世界で、
星のようにひとときわ輝いた名がある——「みすゞ」。
テルが金子みすゞとして生きたのは、
ほんの三年ほどの僅かな時間だった。

路地裏の狭い家に移り住み、
「みすゞ」としての筆を絶つテル。
夏越まつりのお囃子が、
ふるさとの遠い海を連れてくる。
漁で栄える小さな町。どんなに胸に描いても、
あそこに帰ることは、もうできない。
空一杯にこだまする「みすゞ」の残響を
掻き消すかのように、ぬかるみを歩き出すテル。
大きな空は喪ったけれど、足下に、
水に映る小さな空を見つけた——。

テルが「みすゞ」という名を捨てて
自身を綴るように生きた最後の日々。
それは言葉にならない、
けれどきつと光への詩。